

5-2 計画の基本方針・目標

本計画の基本方針及び目指すべき目標を下記の通り設定します。

白石市の交通の課題

【白石市を取り巻くまちづくりの課題】

① 将来の人口動向を踏まえた交通ネットワークが必要

② 集約型の都市づくりを支援する交通体系が必要

③ 広域観光周遊を支援する交通体系が必要

【白石市の公共交通全体の課題】

④ どの地区からも乗り換えなしに通院できる公共交通が必要

⑤ 地域の買物先ニーズに合った経路・運行時間の見直しが必要

⑥ 小中学校の統廃合を見据えたスクールバスの役割を担う公共交通が必要

⑦ 歴史・自然・レジャー・温泉等、多様な観光資源と交通拠点を結ぶ公共交通が必要

⑧ 市民バスの利用促進を図り、高齢ドライバーの運転免許返納を促す取り組みが必要

基本方針（白石市の交通課題への対応）

基本方針1 まちづくりと連携した持続可能な公共交通

目標

総合計画や都市計画マスタープランで示されているまちづくりの将来像「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまちづくり」を実践する持続可能な公共交通を実現します。

- ・将来における市の課題、地域のまちづくりの課題に対応し、持続可能な交通体系を構築。
- ・需要の低いエリア、重複サービス等の見直しを実践。
- ・「集約型の都市づくり」において、中心市街地を活性化させる交通体系を構築。
- ・「交流人口の拡大」において、県南の拠点として、周辺市町村との連携により日常生活・観光等の交流を促進させる交通体系を構築。

基本方針2 市民の外出をサポートする公共交通

目標

交通弱者である高齢者を中心とした「通院」、「買物」等の日常生活ニーズ、小中高の通学に対応した公共交通の運行を実現します。

- ・市民の通院・買物・通学など日常生活の外出をサポートし、健康で活力のある地域を支える交通体系を実現、維持。
- ・中心部と周辺部をつなぐ公共交通を維持し、市民の外出機会を確保。

基本方針3 中心市街地の回遊性や観光振興を高める公共交通

目標

中心市街地の回遊性を高め、市民の通学・通院・買物の支援や今後の観光産業の振興、交流人口・外国人の来訪者増加を見据えた公共交通を実現します。

- ・中心部における拠点性を高め、日常生活の外出を支援し、賑わいを生み出す交通体系を実現。
- ・観光資源を活用し、多様な活動や交流を生み出す交通体系を実現。

基本方針4 分かりやすく、利用しやすい公共交通

目標

鉄道・市民バス・地域内交通等の乗り方や乗り継ぎ等の分かりやすい案内提供や隣接自治体への運行等、利用しやすい環境整備を実現します。

- ・市民、来訪者、外国人観光客等誰もが分かりやすく、利用しやすい公共交通を「市民、関係機関、市」の連携により実現。
- ・高齢化や免許返納を見据え、初めてバスを利用する市民への抵抗を軽減させる、利用案内や運賃補助などのサポートを通じ、安心して利用できる環境づくり。

基本方針5 市民とつくりあげる公共交通

目標

既存の公共交通資源ではカバーしきれない山間地域や広域に点在する集落等について、地域住民が主体的に運営し、助け合う新たな公共交通や病院・商業施設と連携した公共交通サービスを実現します。

- ・地域の公共交通について、地域住民が自ら検討、運営、維持していくための組織づくり。
- ・市内の病院・商業施設と連携した公共交通利用を促進するサービス展開。
- ・市民の様々な活動や交流を促進し、自ら活動したい・外出したいと思う憩いの場を創出し、市民が憩う場所の提供と併せて市民の活動を支援。